

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和08年02月10日

計画の名称	幸手市公共下水道事業の推進												
計画の期間	令和02年度～令和06年度(5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	幸手市												
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	2,500	A	2,500	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R6末)
1	令和2年度から令和6年度までの整備計画面積88.7haの下水道整備達成率を0%(R2)から100%(R6)に増加させる。 下水道(汚水)整備達成率 令和2年度からの整備面積累計(ha) / 整備計画面積(88.7ha)	0%	27%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接							R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	幸手市	直接	幸手市	管渠 (新設	汚水管渠築造工事	管渠整備 L=15,724m	幸手市	■	■	■	■	■	2,500		—
											小計						2,500		
											合計						2,500		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
幸手市下水道事業再評価審査委員会設置要綱第2条に基づき、幸手市下水道事業再評価審査委員会ですら事後評価を行う。	令和8年1月
	公表の方法
	ホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	令和2年度から令和6年度までの整備計画面積88.7haの下水道整備達成率を0.0%（R2）から9.1%（R6）に増加させ、良好な環境整備を行うことができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

公衆衛生の向上や河川等の水質保全を図るため、次期（令和7年度から令和11年度）社会資本総合整備計画においても、引き続き公共下水の整備を行っていく。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	100%
	最終実績値	9%
	令和2年度から令和6年度までの整備計画面積88.7haの下水道整備達成率を0% (R2) から100% (R6) に増加させる。	
	交付金の交付状況および対象地域における地質状況の影響や地下埋設物との調整に時間を要し、計画通りの整備進捗に至らなかった。	

